

もっと広がる クスリの世界

老化に影響する「腎」

漢方医学では、老化の原因は「五臓」の機能低下と考えられており、特に「腎」の機能低下が老化に影響を与えるとされています。漢方医学でいうところの腎とは、単に腎臓を指すのではなく、泌尿器系、生殖器系、自律神経系、免疫系など、幅広い働きを含んでいます。その腎の働きが、弱ったり衰えたりすることを「腎虚」といいます。

加齢に伴って出てくる症状、例えば、高齢者

漢方薬で若々しさ保つ

の腰痛、下肢痛、頻尿などは漢方医学ではひとくくりで腎虚の症状と捉えます。腎虚は誰にも加齢とともに出てくる症状ですが、症状が強く出る場合は治療の対象になり、腎をケアする補腎剤が適応となります。

医療用漢方製剤には、補腎剤として「牛車腎気丸」「六味丸」「八味地黄丸」があります。牛車腎気丸の効能効果を見ると「疲れやすくて、四肢が冷えやすく尿量減少、または多尿で時に口渇がある諸症(下肢痛、腰痛、しびれ、老人のかすみ目、かゆみ、排尿困難、頻尿、むくみ)」とあります。いろいろな症状に対して使う漢方薬のように見えますが、全て腎虚の症状であり、腎の働きを補うことによりさまざまな症状を改善します。

同様に、六味丸の効能効果は「疲れやすくて

尿量減少または多尿で、時に口渇がある諸症(排尿困難、頻尿、むくみ、かゆみ)」、八味地黄丸は「疲労、倦怠感著しく、尿利減少または頻数、口渇し、手足に交互的に冷感と熱感のある諸症(腎炎、糖尿病、陰萎、坐骨神経痛、腰痛、かっけ、ぼうこうカタル、前立腺肥大、高血圧)」となっています。

また、漢方薬で腎の働きを補うことは、アンチエイジングの効果も期待できます。とはいえ、誰でも同じように効果があるわけではなく、それぞれの症状に適した漢方薬でなければ、効果がないどころか、副作用のリスクもあります。まずは、主治医やかかりつけ医、薬剤師に相談してください。

(加藤 寛史・県病院薬剤師会常任理事)

<毎月第4火曜日に掲載>